

F C H D 他社とも連携「企業価値高める」

2019/9/5

福山コンサルタント（福島宏治代表取締役社長）を中核とするF Cホールディングス(福島宏治代表取締役)は5日、I Rミーティングを日本証券アナリスト協会（東京都中央区）で開いた。福島宏治代表取締役が新中期経営計画の概要を説明。「自社グループ内単独主義と決別し、『共創する技術サービス』をキーワードとした、他社との連携によって企業集団の価値を高めていく」との考えを示した。新中期経営計画のスローガンは「Co-Creation(共創)22」。

基本方針として、①コンサルティング分野の多分野化による商品の拡張②海外展開の加速化を中心とした市場の拡張③民間顧客を含めた顧客の多層化—の三つを掲げた。基本方針に基づく戦略の基軸には▽次世代事業の創出(事業の多様化)▽コアコンピタンスの追及（比較優位事業の深化）▽多様な人材の雇用と継続教育(顧客価値の多様化)▽I C T活用による生産性向上（生産の効率化）—の四つを挙げた。

次期（2020年6月期）の連結業績は売上高75億円（前年比2・2%増）を見込んでおり、営業利益は7億5000万円（同1・5%増）、経常利益は7億5000万円（同1・7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億6000万円（同0・9%増）を見込んでいる。

22年6月期の連結業績については、売上高85億円、営業利益・経常利益9億円、当期純利益5億円の達成を目指していくことにしている。